

# 水稻生育情報 (No.1)

平成27年6月8日  
県西農林事務所 経営・普及部門  
(筑西地域農業改良普及センター)

## 【生育概況】

本年は、気温が4月上旬は平年よりも1℃程度低く推移したが、4月中旬以降は平年よりも1.6～3.5℃程度高く推移しました。また、降水量は平年よりも少なく、日照時間は平年よりも多く推移しました。

水稻定点調査における管内の「コシヒカリ」生育状況を下表に示します。6月1日現在の生育は、草丈や葉色はほぼ平年並みでした。茎数は平年並みからやや多く推移しています。

表1 水稻定点調査結果(6月1日時点)

調査地点	田植え日 月/日	植付株数 株/坪	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉色	
					葉色版	SPAD値
下館市	5月7日	57	31.2	276	4.5	38.1
一本松	(5月2日)	(65)	(27.9)	(281)	(4.7)	(39.2)
下妻市	5月2日	42	33.0	230	5.2	43
加養	(5月2日)	(43)	(30.6)	(188)	(5.3)	(40.7)
桜川市	5月17日	61	25.4	165	4.4	32.5
元岩瀬	(5月14日)	(59)	(27.8)	(158)	(4.5)	(36.4)
桜川市	5月7日	44	25.9	144	4.5	36.8
真壁町飯塚	(5月7日)	(58)	(28.0)	(166)	(4.7)	(37.6)

( )内は平成22～26年(5ヵ年平均値)

桜川市真壁町飯塚は過去2ヵ年の平均値

## 【これからの栽培管理のポイント】

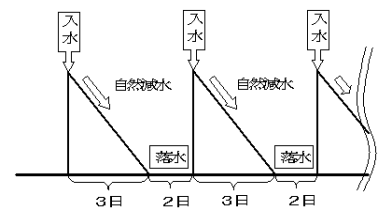
- 分けつ盛期になると茎数は急激に増えるので、中干しの適期を逃さないようにしましょう。
- 過剰な分けつは無効分けつや倒伏を助長します。
- 田面を固めることで、収穫直前まで落水時期を遅らせても機械作業に必要な地耐力が確保できます。このため、乳白粒の発生抑制や干粒重の増大にもつながります。
- 中干し期間中に葉色が低下しますが、追肥は控え、穂肥まで待ちましょう。なお、基肥一発型の肥料を使っている場合は、追肥を行いません。

### 中干しの時期と方法

開始時期	茎数330本/m <sup>2</sup> 程度となったとき(坪60株で18本/株:コシヒカリ) 田植え35日後が目安
実施期間	葉色が濃い場合(葉色板で4.5以上)に15～20日間 葉色が薄い場合(葉色板で4.5程度)に10～12日間
終了時期	葉色が4.0程度に落ちた時期 ただし、幼穂形成期頃までに終了させてください。
中干し程度	田面に亀裂が生じ、足跡が軽くつく程度 水持ちが良い圃場では強めに、悪い圃場では弱めに実施します。

## 【中干し後の管理について】

- 中干し後のイネの根は畑作物に似た形質を示し、常時湛水で管理していると根腐れを起こす危険が高まるため、根の活力保持のためにも間断かん水を行きましょう。
- 2～3日湛水管理(入水後自然落水)し、落水状態を1～2日程度保つサイクルを繰り返します。落水時には田面が多少乾いても問題ありません。



※間断かん水の一例